

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス さんさん		
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日 ～ 令和7年 4月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35 (回答者数)	13
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 15日 ～ 令和7年 4月 25日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	当事業所は1階と2階の2つのスペースを使用することができ、児童の皆さまができるだけわかりやすく自由に動くことができるようにルールを決めています。 また「静」と「動」のスペースに分け、子どもたちが自発的に行動ができるように配慮しています。	児童のみなさまの特性上、視野が狭かったり、探すことが苦手であったりするため、視覚支援に力を入れていきたいです。スペースを有効に使用し、自発的な行動を促せるように動線を明確化するなどに取り組んでいます。
2	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	児童のみなさま1人1人に合わせて、必要な場合は検査を行う等、困った時には対応をしています。 また、事業所内相談や訪問での相談、在宅訪問支援などを行い特性に合わせたお困りごとに支援できるように体制を作っています。	今後も昨年度同様、必要に応じての面談を行ってまいります。昨今、登校への困り感を抱えていらっしゃるご家庭も増えているため、柔軟に対応をしながら社会生活が楽しく過ごせるように支援してまいります。
3	事業所の支援に満足していますか。	来所されるときにお子さまは「なにをしようかな？」と考えて来所されます。来所のお友だちを送迎車の中で事前に予告し、安心して楽しく過ごすことができるように気を付けています。	支援プログラムが変更され、5領域でのプログラムになったことを生かし、従来の支援内容だけでなく新しいプログラムも計画していきます。生活に近い社会経験プログラムを増やしていきたいと思っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	現在児童クラブ等の活動に参加する機会はありません。地域の児童と関わることを設定する必要があります。	地域の児童クラブや児童館などの交流が無いため、交流の機会を作ることができるように、地域での連携を強めるように事業所として努力します。
2	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	昨年度のはじめに、新しい体制についてのお知らせは致しましたが、内容が周知されていなかったことが原因です。	新しいガイドラインの内容についての支援内容で具体的にどのような支援が受けることができるのかの説明をおこなってまいります。
3	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	避難訓練を土曜日・祝日に設定していたため、児童全員の避難訓練を開催できていなかったことが要因です。	今年度は「避難訓練の週」を作り、平日でも集団活動の中で避難訓練を実施するように改善します。